

開講科目名 / Course	精神看護援助論	
ターム・学期 / Term・Semester	2021年度 / Academic Year 前期	
開講区分 / semester offered	前期	
単位数 / Credits	2.0	
学年 / Year	3	
主担当教員 / Main Instructor	杉本 圭以子	
担当教員名 / Instructor	後藤 成人、杉本 圭以子	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	講義	
科目の目的と概要	精神看護を実践するために必要になる知識、理論、技法について学ぶ。主な精神症状、精神疾患、入院環境及び地域生活支援の知識を整理しつつ、患者 - 看護師関係を基盤とした看護を具体的に学習する。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神看護の対象と精神看護の基本概念について説明できる。 2. 主な精神症状と精神疾患、精神科治療の概観を説明できる。 3. 精神看護におけるセルフケアのアセスメントの視点を説明できる。 4. 精神科病院の治療環境の特徴と看護師の役割について安全・人権の視点を含めて説明できる。 5. 精神障害を持つ人に必要な看護を症状と疾患、生活、ストレスの観点から説明できる。 6. 精神障害者の地域生活支援の実際について説明できる。 	
DPとの対応	<ol style="list-style-type: none"> 1. 確かな看護の力・技術力、2. 看護を遂行するための幅広い知識と観察力・臨床推論能力、マネジメント能力、3. 心豊かな人間性と倫理観、4. より健康な社会の実現に向けて課題を見出し、改革・改善する力、5. 国際性を持ち、多くの職種や人々と連携・協働する力 	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 01. 精神看護における対象者の理解と精神看護の基本概念 02. 精神症状・状態像 診断基準 診察と検査 03. 精神疾患と治療(1) 統合失調症・双極性障害 04. 精神疾患と治療(2) 不安障害・強迫性障害 05. 精神疾患と治療(3) 身体性障害・摂食障害 06. 精神疾患と治療(4) 神経認知障害・パーソナリティ障害 07. 精神疾患の治療法(1) 薬物療法 08. 精神疾患の治療法(2) リハビリテーション療法 09. 患者 - 看護師関係の構築 治療的關係 10. 看護援助の展開 看護援助の基本的構造・セルフケアの援助 11. 精神障害を持つ人への看護(1) 治療環境 12. 精神障害を持つ人への看護(2) 安全管理・リスク管理 13. 精神障害を持つ人への看護(3) 統合失調症を持つ人への看護 14. 精神障害を持つ人への看護(4) 双極性障害・うつ病を持つ人への看護 15. 精神障害を持つ人への看護(5) アルコール依存症・摂食障害を持つ人への看護 16. 精神障害を持つ人への看護(6) 身体疾患を合併している人への看護 17. 精神障害を持つ人への地域生活支援(1) 日本におけるケアシステム 18. 精神障害を持つ人への地域生活支援(2) 多職種連携、退院支援、訪問看護 19. 精神障害を持つ人への地域生活支援(3) 就労支援、家族への支援 20. 精神科臨床で用いられる治療的技法 	
その他の授業の工夫	学生自身が主体的に学び、より深く理解するために、アクティブラーニングを組み込む。理解を深めるため、視聴覚教材を多用する。知識の定着を図るため、小テストを実施する。	
時間外学修	授業内で予習したことについて共有できるよう、課題を提示し、事前学習を求める。事後は学習した内容を演習、実習に活かせるよう整理する。	
評価方法と評価割合	筆記試験(2回)80%、小テスト10%、授業態度(出席、提出物)10%	
テキスト	新体系看護学全書 精神看護学2 精神障害を持つ人の看護(メヂカルフレンド社)	
参考書	系統看護学講座 専門分野 精神看護学[2](医学書院) 精神看護学 臨床で活かすケア ころろ・からだ・かわりのプラクティス(南江堂) 看護実践のための根拠がわかる 精神看護技術(メヂカルフレンド社)	
履修する上で必要な要件	精神看護学概論を履修済みであること	
その他		
教員の実務経験	有・無	有
	内容	杉本圭以子：精神科病院、クリニックでの看護師としての経験 後藤成人：精神科病院での看護師としての経験
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	

実務経験をいかした教育内容

精神科での勤務経験をいかし、イメージしにくい精神科の治療環境や、看護の対象者についてわかりやすく伝える。